

あいさつ運動啓発ポスターコンクール受賞作品決定！

人権推進課 ☎552-6926

地域で培われてきた絆を大切に、相手を認め合う「あいさつ」を推進するため、小・中学生を対象に、あいさつ運動啓発ポスターコンクールを毎年開催しています。審査の結果、次のとおり受賞作品が決定しました（敬称略）。

ポスター展示 場所 丹波篠山市役所
【最優秀・優秀作品のみ】
 とき 12月8日(月)～14日(日) 8:30～17:15
【応募作品全て】
 とき 12月16日(火)～22日(月) 8:30～17:15

◆最優秀賞

【小学1～3年生の部】



かなまる ちさの
金丸知彩乃(味間小3年)

【小学4～6年生の部】



みずたに さわ
水谷咲羽(味間小6年)

【中学生の部】



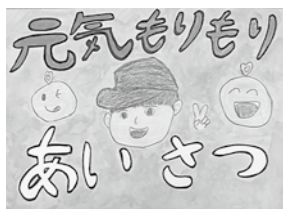
みずたに さこ
水谷咲心(丹南中3年)

◆優秀賞

【小学1～3年生の部】



しろかわ しゅん
出口心春
(城東小1年)



おたいた こうき
太田幸樹
(城南小3年)

【小学4～6年生の部】



あなん りん
宗安 侑仁
(岡野小4年)



にしむら ゆき
西村優希
(多紀小4年)

【中学生の部】



うまば あきと
馬場晃人
(篠山東中1年)



かんのんほのか
河南穂香
(丹南中3年)

人権啓発標語受賞作品決定！

人権推進課 ☎552-6926

人権に関する標語の制作を通して、市民が人権を尊重することの大切さに関心を深め、人権尊重のあたたかいまちの実現につながることを目的に、人権啓発標語を募集しました。審査の結果、次の通り受賞作品が決定しました（敬称略）。

【表彰式】
 とき 12月13日(土) 13:00～
 場所 田園交響ホール

◆最優秀賞

【小学生の部】 ちがうってステキ！あなたもわたしも 重里紀希
 【中・高校生の部】 みとめあうひとそれぞれがしゅじんこう 永井斗真
決めつけて 自分の心も 狭めてる 井本陽葵
認め合い ころの壁ない 多様性社会 堀本清代

◆優秀賞

【小学生の部】 気づこう 見えない気持ちにも。 宮本玲菜
 【一般の部】 あたたかい 心を通わせ 生きる町 片山あゆ美

訂正して、お詫びします

11月号の「防火ポスターコンクールの受賞作品が決定しました！」の記事で市長賞を受賞した「倉愛花さん(篠山中1年)」とあるのは「倉愛花さん(篠山東中1年)」の誤りでした。

丹波篠山市功労者表彰 —市政のさまざまな分野で功績のあった皆さんを表彰しました—

市長公室 ☎552-5109

市政のさまざまな分野で功績のあった皆さんをたたえる「丹波篠山市功労者表彰式」を、11月3日に丹南健康福祉センターで行いました。受賞されたのは、自治・文化などの分野から、次の皆さんです。



(敬称略)

自治功労

- 東泰弘(神戸市) = 財政持続的発展計画推進委員会委員/公正職務審査会委員/公正職務相談員として
- 長澤典永(東岡屋) = 財政持続的発展計画推進委員会委員として
- 杉本健郎(神戸市) = 障害支援区分認定審査会委員として
- 福井辰彦(三田市) = 介護認定審査会委員/介護保険事業運営協議会委員として
- 有賀郁夫(小野市) = 介護認定審査会委員として
- 梶谷千鶴子(県守) = 介護認定審査会委員として
- 酒井菊代(油井) = 環境審議会委員として
- 今井進(佐貫谷) = 人権尊重のあたたかいまちづくり審議会会長/文化財保護審議会会長として
- 向井祥隆(宮ノ前) = 社会教育委員会議長/図書館協議会委員として
- 小嶋昇(後川新田) = 自治会長として
- 小山辰彦(乾新町) = 自治会長として
- 酒井正博(初田) = 自治会長として

文化功労

- 佐々木雅幸(京都市) = 創造都市の識見をもって、市のユネスコ創造都市ネットワークへの加盟に貢献。創造的なまちづくりの指導に尽力

ふるさと功労

- 成瀬郁(味間南) = 助産師としての識見をもって、全国に先駆けて市にMy助産師制度を導入し、子育て支援の充実に貢献
- 語り部サークルふるさと = 長年にわたり地域の民話を継承・紹介するボランティア活動を実施し、伝統文化の振興と地域活性化に貢献
- 日本の童謡・唱歌をひろめる会 = 長年にわたり「童謡唱歌まつり」を開催し、童謡唱歌を歌い広め、芸術文化の振興と地域活性化に貢献

寄付功労

- 内藤正啓(愛知県豊橋市) = 寄付金(ふるさと応援寄附)
- 河合岳雄(山内町) = 寄付金(ふるさと応援寄附)

年に一度！体の総点検

健康課 ☎594-1117

日々の忙しさの中で、自分の健康は後回し…そんな人も多いかもしれません。自覚症状が現れにくい生活習慣病を早期に発見し、早期の治療に結びつけるためには、定期的な体のチェックが必要です。



特定健診では
こんなことが
分かります

⚠ この検査値は要注意！

肥満

腹囲 男性 85cm以上
女性 90cm以上
BMI 25.0以上

血圧

最高血圧 130mmHg以上
最低血圧 85mmHg以上

血液脂質

中性脂肪 150mg/dl以上
HDLコレステロール 40mg/dl未満
LDLコレステロール 120mg/dl以上
Non-HDLコレステロール 150mg/dl以上

血糖・尿糖

血糖 100mg/dl以上
(空腹時・随時とも)
HbA1c 5.6%以上
尿糖 (±)以上

肝臓病

AST(GOT) 31U/l以上
ALT(GPT) 31U/l以上
γ-GT(γ-GTP) 51U/l以上

腎臓病

尿たんぱく (±)以上
eGFR 60.0未満



◆精密検査＝病気ではありません

健診結果で再検査や精密検査が必要と判断されたら、迷わず、早めに受診しましょう。「病気が怖いから再検査や精密検査は受けたくない」という声もありますが、この時点で病気が確定したわけではありません。精密検査は、基準範囲から外れた原因を探り、治療が必要かどうかを判断するために行うものです。生活習慣を改善すると基準範囲に戻ることもあります。健診は受けた後が肝心です。

◆健診受診はこちらで！

- 丹南健康福祉センターでの健診(月1回)
健診日の4週間前までに予約が必要
- 市内指定医療機関での健診
加入している保険の保険者が発行する特定健診受診券が必要
※年齢・加入している保険によって受診できる場所が異なります。詳しくは上記までお問い合わせください。



丹波篠山発!! あなたのそばに頼れる仕事人!
技 丹波篠山職人会

お問い合わせ 090-3355-6254 (代表山内)

リフォーム、水道工事、写真
建築塗装、左官工事、林業
クロス貼替、車両钣金・修理



社会保険料(国民年金保険料)控除証明書が送付されます

西宮年金事務所 ☎0798-33-2944 / 医療保険課 ☎552-7103

社会保険料(国民年金保険料)は、納付した全額が所得税と住民税の控除対象です。この控除を受けるには、保険料を納付したことを証明する書類の添付が必要です。

- ②10月1日から12月31日までの間に納付された方＝令和8年2月上旬
- ③②のうち、ねんきんネットで事前に電子送付希望の登録を行った方＝令和8年1月下旬
※マイナポータルとねんきんネットの連携手続きを行っている方も電子送付で発送されます。ただし、ねんきんネットで「電子送付を希望しない」を登録している方には電子送付は行いません。

控除証明書の送付時期

- ①1月1日から9月30日までの間に納付された方(ねんきんネットで事前に電子送付希望の登録を行った方も含みます)＝順次発送中

※年末調整や確定申告まで、大切に保管してください。万が一、控除証明書を紛失された場合は再発行できませんので、基礎年金番号などをお確かめの上、西宮年金事務所へお問い合わせください。

農業者年金に加入しましょう

農業委員会事務局 ☎552-6909

農業者年金の特徴

1. 農業に従事している方が加入できます

65歳未満の国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。また、農地を持たない配偶者や、後継者などの家族従事者も加入できます。

2. 「積立方式(確定拠出型)」年金です

加入者・受給者の数に左右されにくく、少子高齢化社会にも対応した年金です。

3. 保険料は自由に選べます

保険料は月額2万円から6万7,000円の間で、いつでも自由に設定、再設定できます。35歳未満の方は月額1万円から加入可能です。

4. 加入、脱退は自由です

5. 終身年金です

受給開始後は生涯受け取れます。万が一加入者・受給者が80歳前に亡くなられた場合でも、80歳までに受け取る老齢年金(現在価値相当額)額が死亡一時金として遺族に支給されます。

詳しくは・・・



農業者年金基金

<https://www.nounen.go.jp>

問い合わせ

独立行政法人 農業者年金基金
専門相談員 ☎03-5919-0371

全国農業新聞を購読してみませんか?

毎週金曜日発行!

全国農業会議所が発行している全国農業新聞は、農業の最新情報を農業者の視点から常に更新し、提供しています。農業全般の情報や各地域の明るい話題など農業者生活に役立つさまざまな情報が盛りだくさんです。これから農業を始めてみよう!という方にもおすすめです。

購読料 月額700円
(送料、税込み)
申し込み 農業委員会事務局まで



◆市生活習慣状況調査から見える児童生徒の特徴

小学3年生から中学3年生を対象とした生活習慣状況調査の質問を19項目に分類し、さらに以下の4グループに集約して分析しました。

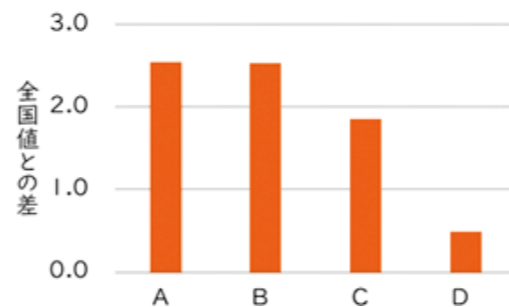
- A 自己認識** 感動体験、成功体験と自信、充実感と向上心など
- B 社会性** 規範意識、思いやり、コミュニケーション能力など
- C 学級環境** 学級の規範意識、学校生活、友人関係など
- D 生活・学習習慣** 基本的な生活習慣、学習意欲など

その結果、4つのグループ全てにおいて肯定的に捉えられていました。特に中学1・2年生では「Bグループの規範意識」など4項目で全国値より5ポイントを上回る良好な状況が確認できました。

◆全国調査から見えてくる生活習慣と学力について

現代の教育現場において、児童生徒の評価尺度は知識や技能を測る「認知能力」のみではなく、自己肯定感や社会的スキル、目標へ向かう力のような「非認知能力」が、子どもたちの学習意欲や将来の社会的自立に深く関わる要素として注目されています。

市生活習慣状況調査と全国との比較
(全学年の平均値)



「全国学力・学習状況調査」および「丹波篠山市学力・生活習慣状況調査」の結果をお知らせします

教育研究所 ☎552-5824

小学6年生と中学3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」(以下、全国調査)、市内の小学5年生以上を対象に「学力調査」(以下市調査)および小学3年生以上を対象に「生活習慣状況調査」を実施しました。結果の概要と学力向上の取り組みについてお知らせします。 ※調査により測定できるのは、学力の一部です。

◆教科に関する調査

学力調査では、集団の規模や実施状況により平均正答率は変化するため、±5ポイントは誤差の範囲とされています。本調査では、小学5年生の平均正答率は全国値を下回りました。その他の学年の平均正答率は、各教科±5ポイント以内で全国平均と同程度の範囲にありました。

	小5(市)	小6(全国)	中1(市)	中2(市)	中3(全国)
国語	-8.4 (-8.2)	-0.8	-0.2 (+2.5)	+1.7 (+5.3)	-0.3
算数 数学	-11.8 (-9.8)	-4.0	+0.5 (+0.7)	+4.8 (+1.7)	-4.3
理科		-2.1			-2.9

例年、本市の子どもたちは学年が進むにしたがって学力が伸びていく特徴がありますが、現在も各学校において課題を分析し、学力の定着と伸長に向け具体的な手立てを講じています。

※小学5年生および中学1・2年生は市調査、小学6年生および中学3年生は全国調査です。
※全国平均と比較しています(市の平均正答率-全国の平均正答率)。
※市調査の()数値は、目標値と比較しています。(市の平均正答率-目標値)

◆学力向上に向けた本市の視点 -環境を整え、学びの根っこを育もう！-



市では、子どもたちが育む学力を「一本の樹」ととらえて教育に取り組んでいます。

「葉」は「知識や技能」、「幹」は「思考力・判断力・表現力」、「根」は「学びに向かう力・人間力など」を表します。

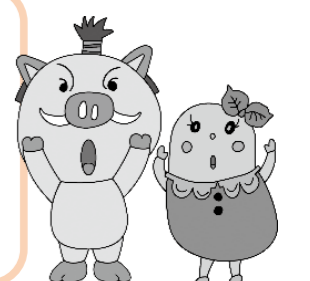
この学力の樹が育つ「土壌の栄養分」として、図の「4つの力」を育み、栄養たっぷりの土づくりをして、学力の樹を大きく元気に育てることをめざしています。

また、学力を「個人の力」としてだけでなく「集団に属する力」として捉え、学級や学校で子どもたちが協働的に学び合う土台となる人間関係や学級風土など集団の状態も重視しています。

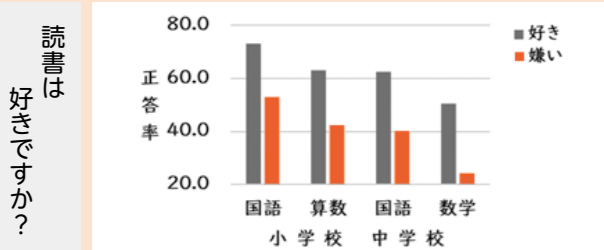
さらに、学校・家庭・地域の連携による「知の森」づくりを通じて、子どもたちの学力を向上させることをめざします。



教育研究所
ホームページ

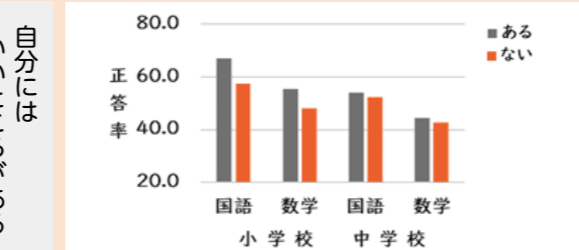


●読書に対する好意度と学力の関係



学力調査の結果から、「書く力」「読み取る力」に課題がみられました。読書は集中力を高めるだけでなく、読解力、想像力、表現力、語彙力の向上にも関係します。幼児期から絵本に触れる機会を持つことで、読書への関心を高めていくことが大切です。

●自己肯定感と学力の関係



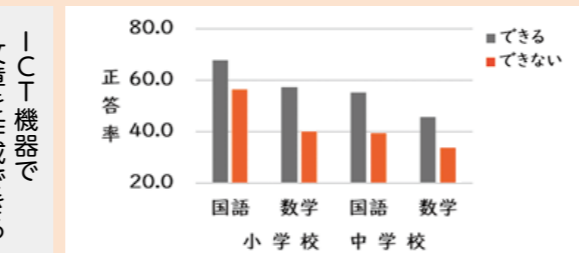
自己肯定感は、一般的に学習への意欲や挑戦する姿勢を支える基盤になると考えられています。自己肯定感が高い児童生徒ほど教科の正答率が高く、さまざまな体験から得た充実感や達成感が学力にも影響していることがうかがえます。

●学習への主体的な取り組みと学力の関係



自分で計画的に勉強することは、「自分で考えて行動する力」の基礎であり、「学びに向かう力」をつくることにつながります。学習への主体的な取り組みや、それができる自信がある児童生徒ほど、教科の正答率も高い傾向にありました。

●ICT機器活用能力の自己認識と学力の関係



ICT機器を用いた具体的なスキルに対する自己評価が高い児童生徒ほど、教科の学力が高い傾向が見られました。従来の「読む」「書く」の学習も継続しながら、ICT機器を効果的に活用して学力を高めていく取り組みが重要です。

◆本調査から分析された学力の課題について

教科ごとに児童生徒の状況を把握し、個別または全体への働きかけを行い、学力の定着と伸長に取り組めます(詳細は各校のホームページなどに記載)。

学力向上に向けては単なる知識の習得だけでなく、基本的な生活習慣や読書習慣の定着、主体的な学習態度や自己肯定感の育成、情報活用能力に対する自信など、学力の「根」となる部分への働きかけが重要です。そのために、学校と家庭・地域が連携して取り組んでいくことが大切です。

